

留 学 報 告 書

記入日:2020年7月20日

所属学部／研究科・学科／専攻	経営学部公共経営学科
留学先国	イタリア
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ベネチア大学 現地言語: Ca'foscari University of Venice
留学期間	2019年9月～2020年3月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2020年3月10日
明治大学卒業予定年	2022年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9～1月 2学期:2～6月 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	19000人
創立年	1868年

留学費用項目	現地通貨 (ユーロ)	円	備考
授業料	なし	0円	明治大学の学費のみ
宿舍費	2520ユーロ	約315000円	光熱費・Wi-Fi含む
食費	1800ユーロ	約225000円	
図書費	100ユーロ	約12500円	教科書を数冊買いました
学用品費	50ユーロ	約6250円	
携帯・インターネット費	100ユーロ	12500円	1ヶ月10ユーロで30GB使えたと思います
現地交通費	180ユーロ	22500円	unica という定期券を持っていました(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	2000ユーロ	250000円	旅行費など
被服費	200ユーロ	25000円	
医療費	なし	円	
保険費		7～8万円	形態:明治大学の海外旅行保険 途中帰国したため返金があり正確な値段が分かりません
渡航旅費		200000円	JAL を利用したため高くなりました
ビザ申請費		0円	
雑費		0円	
その他		0円	
その他		円	
合計	6950ユーロ	868750円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:羽田 目的地:ベネチア 経由地:ロンドン	
復路 出発地:ベネチア 目的地:成田 経由地:モスクワ	
渡航費用	
①往復チケットを購入した場合 航空会社:JAL 料金:約 20 万円	
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: _____ 料金: _____ 復路 航空会社: _____ 料金: _____ ∴合計: _____	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: _____) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: _____) <input type="checkbox"/> その他(_____)	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: Camplus) <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2 人)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
1 つ目の家(アパート)は学校から送られてきた住居リストから自分で連絡を取って見つけました。 2 つ目の家(寮)は友達に教えてもらい見つけました。	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
私は最初メストレの Via Piave というところに住んでいました。しかし、イタリア人の友達によるととても治安が悪いらしく 12 月で家を解約し新しくできた寮に移りました。新しい寮は、Santa Marta にありとてもきれいで環境も良く交通の便も良いです。ジムや勉強スペースもあります。また、私が最初借りた不動産会社は特に問題ありませんでしたが友達が借りていた student apartment という会社は度々入居者とトラブルを起こしていて不当に請求をされたりするのであまりオススメではありません。	
現地情報	
1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所: _____)	
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等: _____)	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
イタリア人の友達に聞いていました。特に犯罪には巻き込まれませんでした。	
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
古い建物に入ると電波が通じづらいですが、他は全く問題ありません。	
5)現地での資金調達はどうに行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
ATM でキャッシングをして現金を引き出していました。また、ソニー銀行のカードに生活費を振り込んでもらっていました。	
6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。	
ヒートテックがあったほうが良いと思います。ミラノにしかユニクロがありません。	
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？ イタリア語のみ制限がありました		
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
History of Venice		ベネチアの歴史
科目設置学部・研究科	sie	
履修期間	9~12 月	
単位数	6	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 150 分が 1 回	
担当教授	Pezzolo Luciano	
授業内容	ベネチアの歴史について	
試験・課題など	テストはなし。レポートとプレゼンが課されます。	
感想を自由記入	フィールドワークの授業があって、実際ベネチアの街を見ながら学べる機会があっても楽しかったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Contemporary political issues in Italy		イタリアの現代の政治問題
科目設置学部・研究科	SIE	
履修期間	9~12月	
単位数	6	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 150 分が 1 回	
担当教授	Mioni Michele	
授業内容	授業名とは違って政治の歴史が主でした	
試験・課題など	試験・プレゼン	
感想を自由記入	授業内容もテストも難しかったです、先生がとても良い人で頑張れました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
History of desingn of glass inVenice		ベネチアングラスの歴史	
科目設置学部・研究科	SIE		
履修期間	9～12月		
単位数	6		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に150分が1回		
担当教授	Beltrami Cristina		
授業内容	ベネチアングラスのデザインや歴史について学びます		
試験・課題など	試験のみ		
感想を自由記入	実際住んでいるベネチアで有名なグラスについて知れてとても面白かったです。私は、授業が被っていて行けませんでしたでしたがフィールドワークもありました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Principles of management and Interanational accounting		経営学と会計学の基礎	
科目設置学部・研究科	経営学部		
履修期間	9～10月		
単位数	6		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が3回		
担当教授	Panozzo Fabirizio		
授業内容	経営学について学びます		
試験・課題など	試験のみ		
感想を自由記入	学部生と同じ授業だったのでとてもハードでした。また、試験もとても難しく落単している人がたくさんいる授業です。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など
3)就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
5)進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2018年 1月～3月	高校卒業
4月～7月	特になにも対策していませんでした
8月～9月	この時期に留学に行きたいと考え始め IELTS の勉強をし始めました
10月～12月	IELTS を二度ほど受け出願しました
2019年 1月～3月	
4月～7月	航空券の手配 住居の手配
8月～9月	9月3日に渡航しました
10月～12月	1学期 試験を10月と12月に受けました
2020年 1月～3月	2学期の授業を2月から受け始めましたがコロナの影響で3月上旬に帰国しました
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

【この留学先を選んだ理由】

私はもともとヨーロッパに住んでみたいという憧れがあり、ヨーロッパに絞って志望先を考えていました。その中で、GPAとスコアの関係からベネチアに決めました。

【留学先のメリット】

ベネチアは、イタリアの中で比較的治安が良いほうです。そのため、留学中に危ない思いをしたことがなかったです。また、ベネチア大学には、日本語学科があるので日本語を学ぶイタリア人と友達になることができます。これは、ベネチア大学ならではの特徴だと思います。その友達と、飲みに行ったり小旅行をしたりとても楽しい経験ができました。

【留学先のデメリット】

イタリア全般に言えることだと思いますが、事務手続きが遅いです。また、結構適当なことが多いです。また、ベネチアではアクアアルタという水害が起きるのでアクアアルタが酷いときは学校が休校になってしまいます。

【留学先の授業】

私は、学部生にまじって授業を受けていましたがイタリア人の学生などは積極的に授業中に発言していたりととても刺激を受けました。ぜひ、留学した際はSIEだけではなく学部生の授業を受けることをオススメします。また、SIEの授業は割と簡単であったり退屈なものが多いと感じました。しかし、SIEの授業を通してプレゼンを体験できたり友達を作ることができたのでその点に関しては履修して良かったと感じました。

【留学で大変だったこと】

私は、最初に住んでいたアパートの住民があまり良い人ではなくアジア人だからと差別のようなものを受けていました。(私がやっていないことをすべて私のせいにされるなど)しかし、引っ越してからはとても楽しい日々だったので引っ越すのも手だと思います。また、コロナウイルスの感染が拡大してからアジア人として入店拒否など様々な差別を受けましたが、今考えたらとても貴重な経験だったと思います。

いままで自分がアジア人だということを考えて生活したことはありませんでした。そのため、これらの機会は自分を見つめ直す良い機会だったと思います。

【アドバイス】

ベネチアで生活することは、毎日が夢のようでした。とてもきれいな街に囲まれて、素敵な所に徒歩で行けるという最高の環境でした。

生活していく中で、とても日本に帰りたくなったり勉強が想像以上に大変で辞めたくなくなってしまうことも1度はあると思いますが、乗り越えたらとても良い経験です。ぜひ、勉強を頑張る機会があれば留学してみてください。